

## 令和2年度お茶の水女子大学経営協議会〔第4回〕議事録

日 時：令和3年3月16日（火）15：30～17：45

場 所：お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室（213室）及びZoomによる参加

出席者：（学外委員）相澤委員、大橋委員、小野委員、北原委員、坂本委員、篠塚委員、  
野間口委員、村松委員、毛利委員、DAVIS 委員  
（学内委員）室伏学長、森田理事、三浦理事、佐々木理事、谷理事、加藤副学長、  
新井副学長、藤原副学長、山下副学長（事務総括）  
（陪 席）内海監事、渡辺監事  
谷本副理事  
水野文教育学部長、小林理学部長、仲西生活科学部長、  
菅原大学院人間文化創成科学研究科長、坂元総合評価室長

### I. 議事録（案）の確認

記録内容及び大学ホームページへの掲載について、了承した。

### II. 学長報告

#### 1. 新型コロナウイルス感染防止に関する本学の対応について

室伏学長より、新型コロナウイルス感染防止に関する本学の対応について報告があり、森田理事より、本学新型コロナウイルス感染防止対策室による感染防止に関する具体的取り組みについて、三浦理事より、授業実施方針、入学試験、学生支援等教育関係における対応について、資料に基づき説明があった。

#### 2. 理学部1号館改修工事及び新学生宿舎整備の進捗について

令和3年度内に竣工を予定している理学部1号館改修工事及び新学生宿舎整備の進捗状況について、資料に基づき報告があった。

### III. 審議事項

#### 1. 令和3年度国立大学法人お茶の水女子大学年度計画（案）について

森田理事より、令和3年度国立大学法人お茶の水女子大学年度計画（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

北原委員より、構想中の工学部の設置予定時期について確認があり、森田理事より、1学部2学科を予定しており、人間環境工学科（仮称）については令和5年度設置予定、文化情報工学科（デジタルヒューマニティーズ）（仮称）については令和7年度設置予定で構想しているとの回答があった。さらに、北原委員より、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインによる講義が一般的となったことで、国際間の講義実施が容易になった側面もあるため、新学部ではその方向も取り入れてユニークな学部として欲しい、との提案があった。室伏学長より、工学部設置は国立の女子大学としての特色を明確に打ち出した新しい取り組みとして、キャンパスのグローバル化等も含め、他にはない工学の教育・研究拠点となることを期待しているとの補足説明があった。

## 2. 令和3年度学内予算（案）について

森田理事より、令和3年度学内予算（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

## 3. キャンパスマスタープラン2021について

三浦理事より、5年前に策定された「キャンパスマスタープラン2016」で計画された案件が全て達成されたことの報告があり、新たな「キャンパスマスタープラン2021」について、資料に基づき説明があった。審議の結果、原案のとおり承認された。

## 4. 国立大学法人お茶の水女子大学職員給与規程等の一部改正について

森田理事より、国立大学法人お茶の水女子大学職員給与規程等の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

## 5. 生活科学部特別設置科目の廃止に伴う関係規則の一部改正について

三浦理事より、生活科学部特別設置科目の廃止に伴う関係規則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

## 6. 役員に対する退職手当の業績勘案率について

室伏学長及び森田理事より、役員等に対する退職手当の業績勘案率について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

## IV. 報告事項

### 1. 令和3年度運営費交付金の概要について

森田理事より、令和3年度運営費交付金の概要について、資料に基づき報告があった。

### 2. 外部資金獲得状況について

森田理事より、外部資金獲得状況について、資料に基づき報告があった。

### 3. 令和3年度入学試験実施状況について

三浦理事より、令和3年度入学試験実施状況について、資料に基づき報告があり、学部及び博士前期課程においては定員を確保できたが、博士後期課程においては定員未充足となったことの報告があった。

関連して、文部科学省公募事業「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」に採択され、大学院博士後期課程進学者6名に対し、令和3年度より7年間、研究費等の支給及びキャリア開発支援を行い、課程修了後のポスト確保に繋げることの報告があった。北原委員より、博士後期課程において、社会人経験者の学び直しや、社会経験を活かした博士論文作成を支援する仕組みがあると良いのではないかとの提案があり、室伏学長より、女性の働き方を考慮し学び直しの支援を検討しているとの回答があった。

4. 令和3年1月～3月における本学の主な活動について

加藤副学長から、令和3年1月～3月における本学の主な活動について資料に基づき報告があった。

5. 学長選考会議からの報告について

相澤学長選考会議議長から、学長選考会議による室伏学長の全在任期間の業績評価について、資料に基づき報告があった。

V. その他

今年度末で任期満了となる各学外委員より挨拶があり、続いて、室伏学長より退任挨拶と謝辞が述べられた。

以 上